

2015年9月30日

日本経済新聞

「化学反応 外部エネで変化 北大など計算 水素原子の電子解離」

小松崎 民樹（データ数理研究分野）

化学反応 外部エネで変化
北大など計算 水素原子の電子解離

北海道大学の小松崎民樹、永瀬こと樹が、化学反応は物理的・化学的性質を外部から与えるエネルギーによって変化する。原子間で電子を交換し、エネルギーを変化させる。化学反応の過程を計算で予測して、その過程をリアルタイムで追跡する。化学反応の過程を計算で予測して、その過程をリアルタイムで追跡する。化学反応の過程を計算で予測して、その過程をリアルタイムで追跡する。

が化学反応の過程を計算で予測して、その過程をリアルタイムで追跡する。化学反応の過程を計算で予測して、その過程をリアルタイムで追跡する。化学反応の過程を計算で予測して、その過程をリアルタイムで追跡する。

2015年9月18日

日経バイオテク ONLINE(web)

「国立大学法人 北海道大学、化学反応の行き先を変換する”切り替えスイッチ”の存在を解明」

小松崎 民樹、寺本 央（データ数理研究分野）

国立大学法人 北海道大学、化学反応の行き先を変換する”切り替えスイッチ”の存在を解明：日経バイオテクONLINE

Web環境があればどこからでも参加可能！無料オンラインセミナー、11/18開催！
ウェビナー：薄層クロマトグラフィー(TLC)の基礎 ▶詳細・お申し込み

品質管理、研究開発等でTLC実験に携わる方、必見！TLC実験のポイントとトラブルシューティング
分子情報センター主催 | www.mech@upm.ac.jp

ログイン | 今月のポイント掲載！

TOP | 新着一覧 | 医療・医療 | 基礎・研究支援 | 食品・農業・環境 | 投資・行政・社会 | 人材募集 | セミナー・学会 | 記者発表 | コミュニティ

総合トップ > 経営戦略 > 国立大学法人 北海道大学、化学反応の行き先を変換する”切り替えスイッチ”の存在を解明

国立大学法人 北海道大学、化学反応の行き先を変換する”切り替えスイッチ”の存在を解明

2015年9月18日 10:56

Twitter

北海道大学電子科学研究所（所長 西井準治教授）附属社会創造数学研究センターの寺本央助教、小松崎民樹教授らは、奈良女子大学大学院自然科学系物理領域の戸田幹人准教授、東北大学多元物質科学研究所の高橋正彦教授及び東北大学大学院理学研究科化学専攻の河野裕彦教授と共同で、全エネルギーが高くなる化学反応の行き先（反応の経路）を変換する切り替えスイッチが広範囲に出現することを解明しました。

[プレスリリースはこちら](#)

検索

→ 日経バイオテクについて

→ 掲載・メルマガお申し込み

お知らせ

- ▶ トランスレーショナルメディスンの研習（12/1開催セミナー）
- ▶ 人材募集、セミナー・学会などの依頼について
- ▶ 『日経』バイオテク 最新号・9月28日号目次
- ▶ 『日経』バイオテクONLINE for Investors サービス終了のお知らせ...
- ▶ 書籍『世界最長の「バイオテク企業」4/27発行
- ▶ 4月新刊刊と料金改定のお知らせ